

仕 様 書

年 度 令和 5 年度

場 所 三原市本郷南六丁目

名 称	主要地方道瀬野川福富本郷線φ75mm・φ200mm送・配水管移設工事
-----	------------------------------------

種 別 水道改良 第 号

期 間 年 月 日から 年 月 日まで（契約締結後 日間）

概 要	仮設配管 $\phi 80\text{mm}$ L=277.1m
	$\phi 200\text{mm}$ L=281.2m
	仮設給水装置 $\phi 20\text{mm}$ N=2箇所

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市本郷南六丁目 主要地方道瀬野川福富本郷線φ75mm・φ200mm配水管移設工事に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・水道工事共通仕様書（令和5年4月）広島県水道広域連合企業団三原事務所
 - ・土木工事共通仕様書（令和4年8月）広島県※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・水道工事標準仕様書 平成22年 日本水道協会
 - ・その他関連規格類

第2節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第2章 施工条件

第1節 工程

- 1 関連する別途工事
工事名 沼田川河川改修事業（堤防浸透防止対策）（広島県）
流域下水道管移設工事（仮名）（広島県）
通信ケーブル移設工事（仮名）（NTT）
影響箇所 工事区域内
他工事の内容 擁壁築造、管渠及びケーブル移設等
時期 令和5年5月～
- 2 施工時期・時間の制限
施工内容 仮設管布設
時期 全工事期間
時間 8：30～17：00（作業可能時間）
施工方法・理由 仮設道及び進入路の管理を行うこと。
- 3 関係機関との協議
協議内容 河川管理者（広島県）、道路管理者（広島県）、広島県企業局、NTT

	範囲	工事区間全域
4	地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査	
	調査項目	地下埋設物
	調査時期	工事施工前に必要に応じて試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。 （設計変更の対象とする）

第2節 用地

1	現場の復旧 原形復旧とする。	
2	借地	
	場所	指定しない
	期間	指定しない
	使用条件	指定しない
	復旧方法	指定しない

第3節 公害対策

1	事前・事後調査	
	調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。 （設計変更の対象とする。）
	調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
	調査内容	柱，屋根，壁，基礎，建具等の傾斜，損傷状況
	範囲	別途協議による

第4節 安全対策

1	交通誘導員・警戒船・保安要員	
	作業期間中，交通誘導員を2（人／日）配置すること。 なお，参考図書に記載した交通誘導員の数量は工事期間中，適正に安全を確保することを目的として算定したものである。	

第5節 工事用道路

1	一般道路	
	搬入経路	指定しない
	使用期間	工事施工期間
	工事中・後の処置	随時 清掃，工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）
2	仮設道路	
	安全施設	必要に応じてバリケードや柵を設置すること。

工事後の処置	原形復旧
維持管理内容	路面補修のため補修材を必要とする場合は別途協議すること。

第6節 盛土

1 流用土 (工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、約70m³ (地山土量) については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

2 再生砂 (搬入)

本工事では、約 8 m³の砂購入を見込んでいる。

なお、使用する再生砂がセメント及びセメント系固化材を使用した再生砂の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領 (案)」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果 (計量証明書) を提出するものとする。

第7節 建設副産物

1 建設発生土 (搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地 (一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地 (一時たい積) のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費 (平日の受入費用) の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地 (一時たい積) を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用 (単価) は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地 (一時たい積) への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外 (建設工事現場以外の場所) において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第8節 建設副産物の取り扱いについて

建設副産物 本工事における建設副産物の取扱いについては、水道工事共通仕様書 1.1.19 建設副産物 (再生資源利用計画)、(再生資源利用促進計画) 及び (実施書の提出) によらず、次のとおり取り扱う。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト 混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1 の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示 (デジタルサイネージによる掲示も可) し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。現場掲示様式については、次の URL を参考に作成すること。 https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

第9節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場所 指定しない

期間 指定しない

保管方法 指定しない

2 関係機関・自治体との近接協議

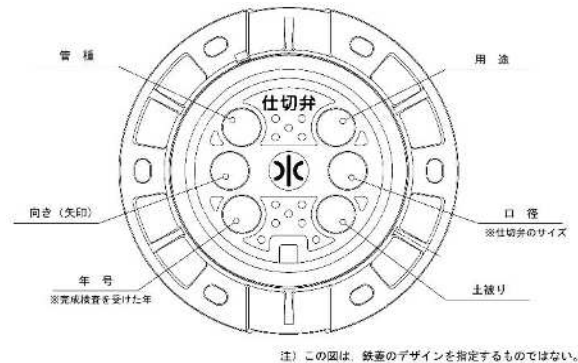
内容 移設位置等について協議済み

第3章 その他

第1節 施工管理

1 弁類

- (1) 弁類台帳等(仕切弁・空気弁・消火栓・既設連絡部)は、監督員との協議のうえ、必要に応じて作成するものとする。作成するに至った場合は、その設置位置を管理するためにオフセット写真を提出するものとする。
- (2) 弁類(消火栓も含む)の受枠(下枠)の微調整については、原則として無収縮モルタルを使用するものとする。また、レジンコンクリート及び鑄鉄製の受枠については、調整リング(再生)を使用しなければならない。
- (3) ねじ式仕切弁鉄蓋の設置は、調整代の中にセットした状態とし、原則として当該工事における舗装仕上げ時等の調整に用いないこと。
- (4) 丸型空気弁鉄蓋については、ロック付きとすること。
- (5) 多機能表示仕切弁用鉄蓋に表示する情報表示プレートは、次の通りとすること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議すること。



2 本管・給水管

配水管等を破損した場合は速やかに監督員に連絡し、指示を受けなければならない。また、その始末書及び事故報告書を7日以内に提出しなければならない。

3 埋戻し

管周りの埋戻し材は、処理土（改良土を含む）を使用しないこと。

4 試験・検査

本工事における試験及び検査などについては、監督員の指示に従うものとする。

5 サンドエロージョン対策

他の埋設物との離隔が確保することが困難なときは、原則として水道本管に保護用ブタジェンゴムシート（幅350mm・厚さ2mm）を3重巻きし、6mmの厚さに仕上げる。なお、これにより難しい場合は、ブタジェンゴム製耐摩板（幅330mm・厚さ6mm）を設置すること。

6 出来形管理

土工における出来形管理において、契約図書に定められていない場合は、参考図書に記載されている数値を基準値として管理すること。

7 現場管理等

現場の管理においては、工期の終期日まで責任をもって行うこと。なお、瑕疵期間については、発注者へ引渡しを行った日から起算して2年間とし、受注者の責に帰すると認められる不具合等が生じた場合は、受注者が補修・修繕等を行うこと。

第2節 法令及び条例等の遵守

1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。

- (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
- (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
- (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』

- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第3節 その他

- 1 本設計書における配管図等は参考資料であり、現場をよく調査・検討した上で詳細な配管図等を監督員に打合せ簿により提出すること。
- 2 近接する地域住民に工事内容等を十分に周知したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。
- 3 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。
- 4 原則、路面標示は原形復旧を見込んでいるが、横断歩道部、自転車横断帯、速度規制、交差点内の誘導表示、矢印の実践と破線等の復旧について表示方法の変更や、復旧が不要となる場合があるので、復旧前に三原警察署交通課へ協議を行うこと。
- 5 仮設管の賃料期間は、70日間を見込んでいる。

主要地方道瀬野川福富本郷線 φ 75mm ・ φ 200mm 送 ・ 配水管移設工事

工 事 数 量 総 括 表						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
開削工事	1	式				
管路(仮設管)	1	式			Lv1	
管きょ工(開削, 仮設)	1	式			Lv2	
管路土工	1	式			Lv3	
管路掘削	1	式			Lv4	
管路埋戻 再生砂	1	式			Lv4	
管路埋戻 発生土	1	式			Lv4	
発生土処理	1	式			Lv4	
管布設工	1	式			Lv3	
	1	式				

主要地方道瀬野川福富本郷線 φ75mm・φ200mm送・配水管移設工事

工 事 数 量 総 括 表						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
管材料	1	式			Lv4	
その他材料	1	式			Lv4	
不断水連絡 φ75・φ200	4	箇所			Lv4	
不断水(簡易)仕切弁設置 φ75・φ200	4	基			Lv4	
既設管切断 φ75・φ200	1	式			Lv4	
メカニカル継手 φ75・φ200	1	式			Lv4	
仮設管布設 φ50A SUS	1	式			Lv4	
仮設管布設 φ80A SUS	1	式			Lv4	
仮設管布設 φ200A SUS	1	式			Lv4	

主要地方道瀬野川福富本郷線 φ75mm・φ200mm送・配水管移設工事

工 事 数 量 総 括 表						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
仮設空気弁設置	1	式			Lv4	
管布設工(仮設排水管)	1	式			Lv3	
管材料	1	式			Lv4	
ポリエチレン管据付 φ50	1	式			Lv4	
管布設工(仮設給水装置)	1	式			Lv3	
その他材料	1	式			Lv4	
仮設給水管連絡	1	式			Lv4	
管路土留工	1	式			Lv3	
土留	1	式			Lv4	

工 事 数 量 総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
付帯工	1	式			Lv2	
舗装版撤去工	1	式			Lv3	
舗装版切断 アスファルト版	1	式			Lv4	
舗装版取壊 アスファルト版	1	式			Lv4	
殻運搬処理 アスファルト殻	1	式			Lv4	
舗装仮復旧工	1	式			Lv3	
下層路盤 再生砕石 厚さ10cm	1	式			Lv4	
下層路盤 再生砕石 厚さ30cm	1	式			Lv4	
上層路盤 再生粒度調整砕石 厚さ15cm	1	式			Lv4	

主要地方道瀬野川福富本郷線 φ 75mm・φ 200mm送・配水管移設工事

工 事 数 量 総 括 表						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
表層 加熱合材	1	式			Lv4	
全工種共通仮設費	1	式			Lv2	
安全費	1	式			Lv3	
交通誘導員	1	式			Lv4	
直接工事費計	1	式				
共通仮設費計	1	式				
共通仮設費(積上げ)	1	式				
運搬費	1	式				
運搬費	1	式				
運搬費	1	式				

主要地方道瀬野川福富本郷線 φ 75mm ・ φ 200mm 送 ・ 配水管移設工事

工 事 数 量 総 括 表						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
技術管理費	1	式				
水圧試験費	1	式				
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				
工事原価	1	式				
一般管理費等(契約保証費含む)	1	式				
工事価格	1	式				
	1	式				

工 事 数 量 総 括 表						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
消費税等相当額	1	式				
合計						

主要地方道瀬野川福富本郷線 φ 75mm ・ φ 200mm送 ・ 配水管移設工事

【 第 1 号 A代価表 】							1 式 当り
管材料 仮設管							
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準	
仮設SUS管賃料 φ 200A 賃料期間70日間	1	式					
仮設SUS管賃料 φ 80A 賃料期間70日間	1	式					
仮設SUS管賃料 φ 50A 賃料期間70日間	1	式					
計							

主要地方道瀬野川福富本郷線 φ75mm・φ200mm送・配水管移設工事

【 第 2 号 A代価表 】						
管材料 不断水類						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
垂直穿孔型鋳鉄用不断水簡易仕切弁 φ75 内面粉体 合金BN 7.5K	2	基				
垂直穿孔型鋳鉄用不断水簡易仕切弁 φ200 内面粉体 合金BN 7.5K	2	基				
FCD鋳鉄用ソトシル仕切弁付不断水T字管 φ75×φ75 内面粉体 合金BN RF7.5K	2	基				
FCD鋳鉄用ソトシル仕切弁付不断水T字管 φ200×φ200 内面粉体 合金BN RF7.5K	2	基				
SUSコブ φ75	2	個				
GF形フランジ 接合材 φ75 ガasket 1号 SUS304BN 7.5K	2	組				
GF形フランジ 接合材 φ200 ガasket 1号 SUS304BN 7.5K	2	組				
K形特殊押輪付帽 φ75 接水部粉体 合金BN コム輪含	2	個				
K形特殊押輪付帽 φ200 接水部粉体 合金BN コム輪含	2	個				

主要地方道瀬野川福富本郷線 φ 75mm ・ φ 200mm 送 ・ 配水管移設工事

【 第 2 号 A 代価表 】 (続 き)						
管材料 不断水類 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
計						

主要地方道瀬野川福富本郷線 φ75mm・φ200mm送・配水管移設工事

【 第 3 号 A代価表 】						
管材料 仮設排水管						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
水道用二層ポリエチレン管 φ50 1種	2.5	m				
水道用ポリエチレン管砲金製エルボ φ50	9	個				
水道用ポリエチレン管砲金製メソ付ソケット φ50	2	個				
計						

主要地方道瀬野川福富本郷線 φ75mm・φ200mm送・配水管移設工事

【 第 1 号 B代価表 】						
その他材料 弁篋類等						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
仕切弁用ねじ式弁篋 C形1号（φ250） 多情報	10	枚				
水道用レジンコンクリート製調整リング φ250×H50	5	個				
水道用レジンコンクリート製上部ボックス φ250×H150	4	個				
水道用レジンコンクリート製上下部ボックス φ250×H150	3	個				
水道用レジンコンクリート製上下部ボックス φ250×H300	3	個				
水道用レジンコンクリート製中間部ボックス φ250×H100	2	個				
水道用レジンコンクリート製中間部ボックス φ250×H300	2	個				
水道用レジンコンクリート製下部ボックス φ250×H300	4	個				
水道用レジンコンクリート製円形底板 φ250×H40	10	個				

主要地方道瀬野川福富本郷線 φ75mm・φ200mm送・配水管移設工事

【 第 1 号 B代価表 】 (続 き) その他材料 弁筐類等 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
空気弁用ロック式円形鉄蓋 円形3号 (φ500) 三原市章入 カラー着色	2	枚				
水道用レジンコンクリート製上部ボックス φ500×H200	2	個				
水道用レジンコンクリート製下部ボックス φ500×H200	2	個				
水道用レジンコンクリート製円形底板 φ500×H40	2	個				
水道用埋設標識シート W150 2倍折込	552.2	m				
水道用ポリエチレンスリーブ φ50	1.1	m				
水道用ポリエチレンスリーブ φ75	277.1	m				
水道用ポリエチレンスリーブ φ200	281.2	m				
防食用ポリエチレン塩化ビニル粘着テープ W50	434.4	m				

主要地方道瀬野川福富本郷線φ75mm・φ200mm送・配水管移設工事

【 第 1 号 B代価表 】 (続 き)						
その他材料 弁篋類等 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
計						

主要地方道瀬野川福富本郷線 φ75mm・φ200mm送・配水管移設工事

【 第 2 号 B代価表 】						
その他材料 仮設給水装置						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
FCD製止水栓用ハット式円形鉄蓋 円形特殊 φ170 T-25	1	個				
止水栓用レジンコンクリート製上部ボックス φ200×H150	1	個				
止水栓用レジンコンクリート製中間部ボックス φ200×H200	1	個				
止水栓用レジンコンクリート製円形底板 φ200×H40	1	個				
ポリスチレンフォーム製保温筒 φ25×t10 材工共	45	m				
ポリスチレンフォーム製保温筒 φ20×t10 材工共	50	m				
計						